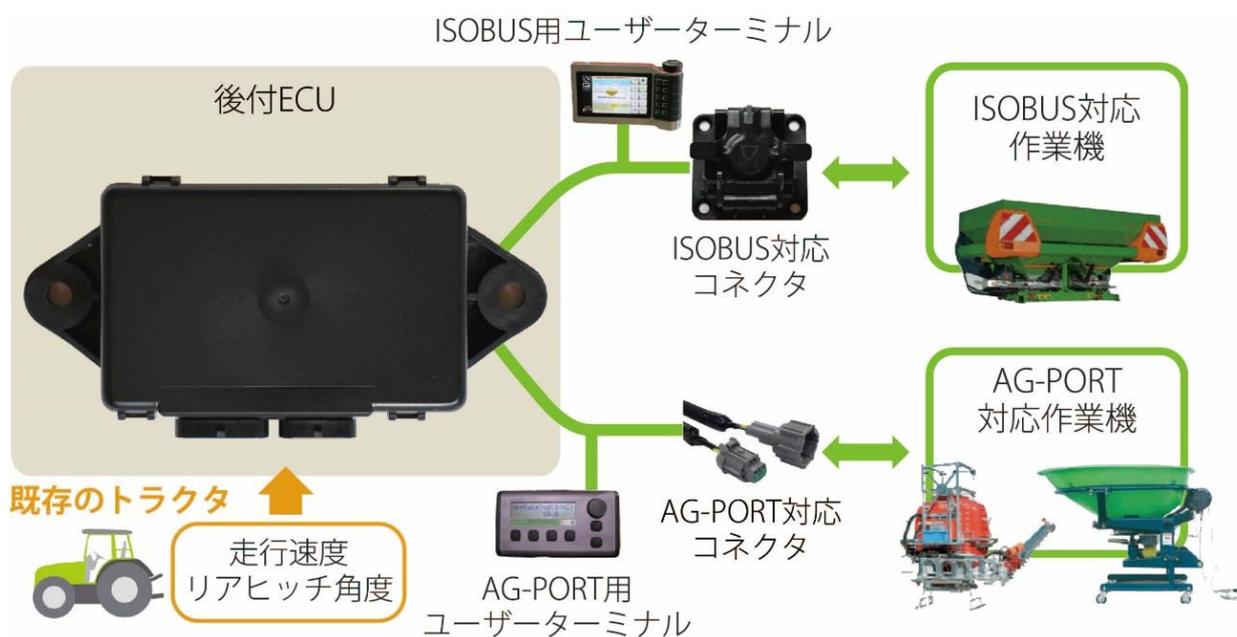


既存のトラクタを最新の共通通信技術に対応させる 後付コントローラ

国際標準 (ISO 11783) に準拠した ISOBUS 機器や AG-PORT 機器がマーケットに流通しています。しかしながら、これらの共通通信技術に対応した機器を使うために必要な、共通通信技術対応型トラクタの導入コストが問題となっています。そこで、既存のトラクタを共通通信技術に対応させるための、後付コントローラを開発しました。

☆技術の概要

1. 既存のトラクタに追加することで、国際標準 (ISO 11783) に準拠した ISOBUS 作業機や日農工 AG-PORT 対応作業機と組み合わせた作業を可能にする後付コントローラ (図) を開発しました。これにより、農家がトラクタを更新せずに、ISOBUS・AG-PORT 機器を接続・運用できるようになります。
2. コントローラは、トラクタから取得した走行速度やリアヒッチ角度等の情報を ISOBUS や AG-PORT に準拠したフォーマットと頻度で送出します。走行速度情報は車速に連動した肥料や薬剤散布などに、ヒッチ角度情報は作業の ON/OFF 制御などに使用されます。



☆活用面での留意点

1. ISOBUS・AG-PORT 作業機を運用する際は、対応するユーザーターミナルや接続コネクタ、ハーネス類を用意する必要があります。
2. 詳細は、北海道農業研究センター・大規模畑作研究領域・大規模 IT 農業プロジェクトチーム (0155-62-9280) へお問い合わせください。

(北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域 主任研究員 西脇 健太郎)